SnomD735　取り扱い説明書

Ver1.0.3 2020/05/27
Ver1.0.2 2019/06/24
Ver1.0.1 2019/04/24

このたびは、SnomD735をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。
SnomD735本体
受話器
カールコード
LANケーブル
取扱説明書
ACアダプター

免責事項
機能・仕様については予告なく変更する事があります。
お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
SnomD735は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

お手入れ
柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

接続方法

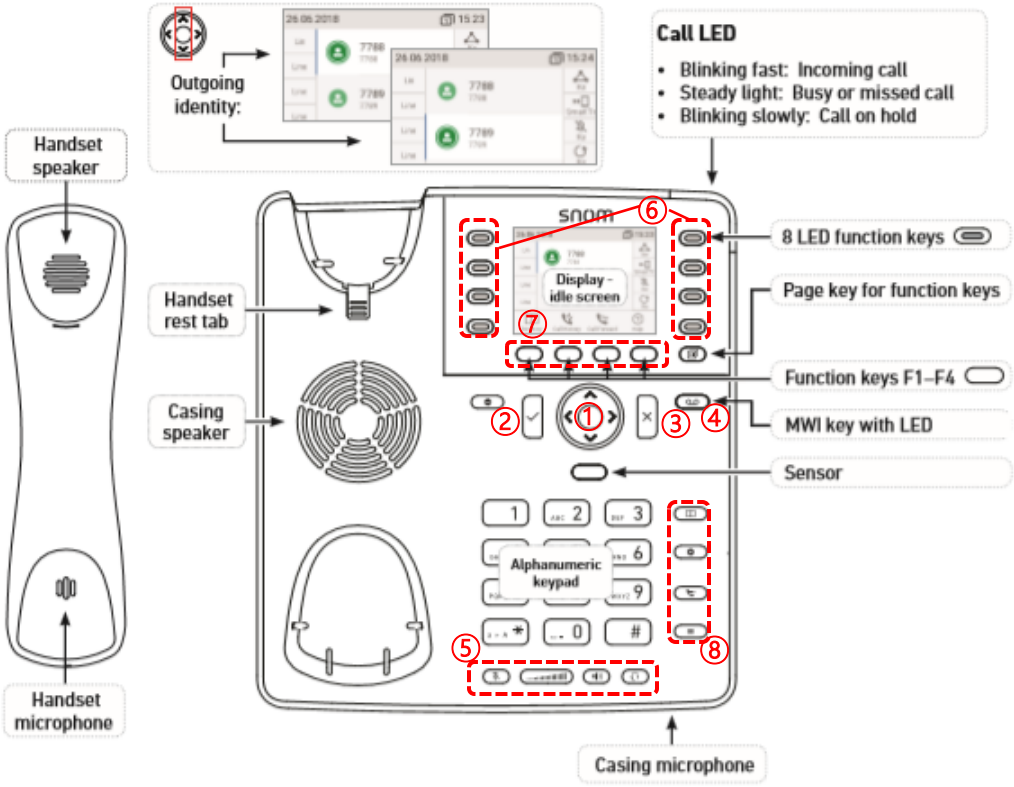
1. 本体と受話器を受話器コードでつなげる
2. LANネットケーブルを本体後側の「NET」とブロードバンドルーターに差し込む
3. プラグパーツをACアダプタに取り付け、コンセントに差し込む
4. ACアダプタを本体に差し込む

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。
接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

※ 必ずSnomD735本体後側の「NET」に、ルーターからのLANネットケーブルを接続します。
本体後側の「PC」は、PC等接続しますと、SnomD735を通してネットワークに接続する事が可能です。

※ PoE【Power over Ethernet】に対応したブロードバンドルーターにSnomD735(PoE対応バージョン)を接続すると
ACアダプタを接続しなくても使用することが出来ます。
（注）ご利用の環境によって、PoE機能では動作しない場合があります。その場合はACアダプタをご利用ください。

SnomD735とは、当サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダに加入しておくことが必要です。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。



① Navigation key
ディスプレイメニュー内のカーソルを移動させることが出来ます。

② ENTER key
設定を選択する際、発信する際に使用します。
発信する際には、ダイヤルした後に必ず「ENTER key」を押します。

③ CANCEL key
キャンセルする際に使用します。

④ LED for MWI
留守番電話がある時に、点灯します。

⑤ :ミュート、:音量調整、:スピーカーホン、:ヘッドセットモード

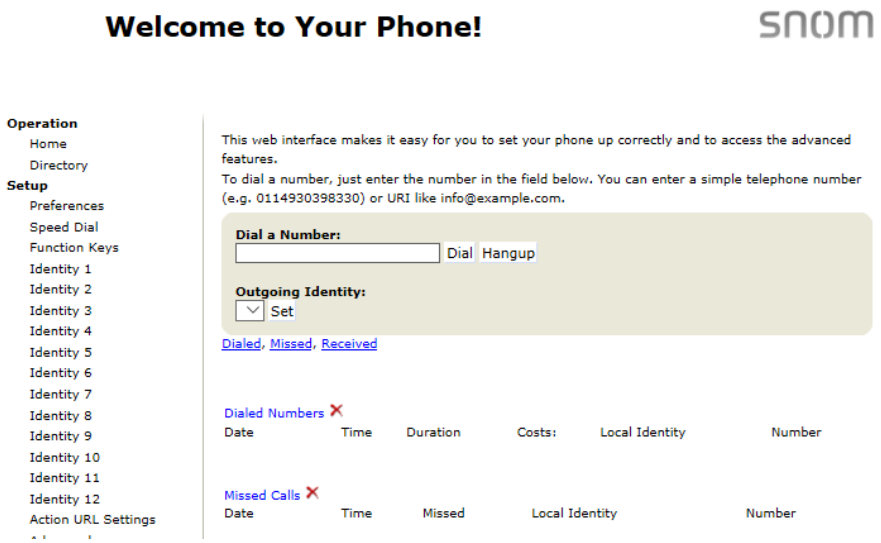
⑥ 8つのボタン:プログラマブルキー
設定画面より、機能を割り当てることが出来ます。
詳細は本説明書内の「ボタンの割り当て設定」をご参照下さい。

⑦ ファンクションキーF1～F4
ディスプレイに表示されるそれぞれのキーに対応した項目を選択することができます。

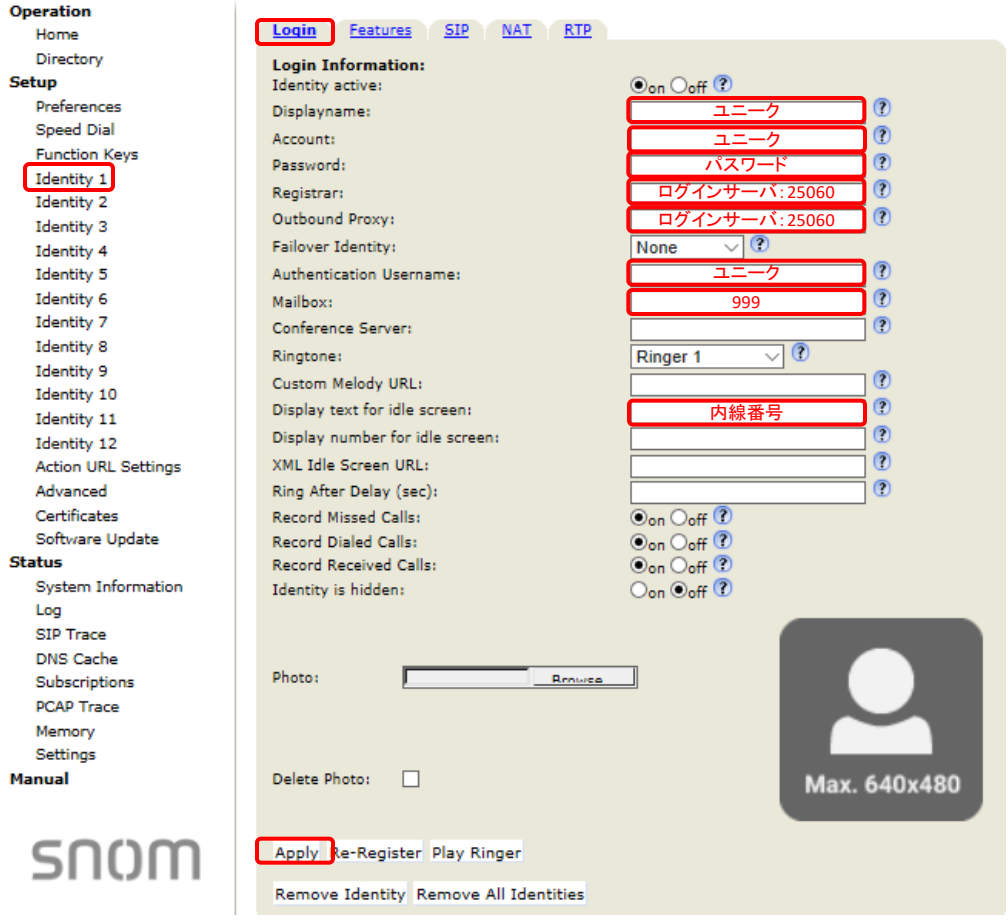
⑧ :着信拒否、:電話帳、:設定、:転送、:保留

① SnomD735本体のIPアドレスを確認する。
設定ボタン ⚙ を押し、Navigation Keyで「Information」まで行きEnter Key をします。
Navigation Keyで「System Info」でEnter Keyを押してください。

② webブラウザから、設定ページを開く。
SnomD735と同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等のwebブラウザを起動し、
先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。
http://(IPアドレス)/
トップページは以下のようになっています。



③ SIP情報の登録
左メニューより「Identity 1」をクリックし、以下のように設定します。終わりましたら「Save」をクリックします。



Displayname： & Account： ユニーク（10桁の数字）を入力します。

Password：
登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。
もし、お客様管理ページ内「ユニーク管理」にてパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

Registrar： & Outbound Proxy：
お客様管理ページに記載されているログインサーバを入力し、その後ろに“:25060”と入力します。
※お客様管理ページに記載されているログインサーバがVoip3XXXの場合は、ログインサーバの後ろの":25060"は入力しないで下さい。

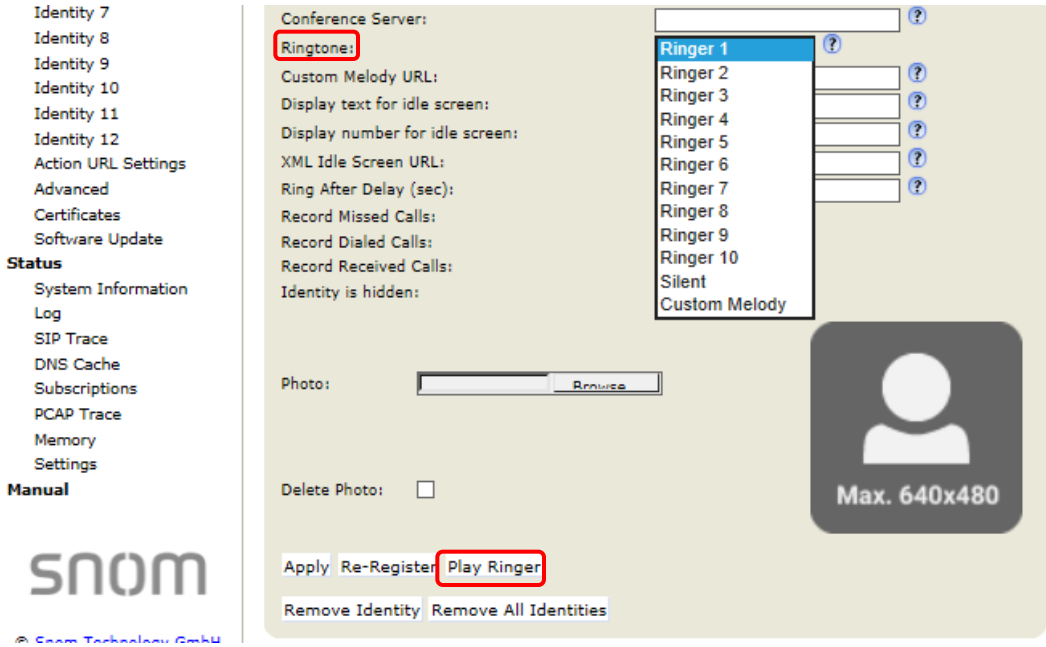
Authentication username: ユニーク（10桁の数字）を入力します。

Mail box: 999を入力します

Display text for idle screen:
ディスプレイ画面に表示させる**内線番号**を入力します。例）200 ※任意ですので内線番号でなくても結構です。

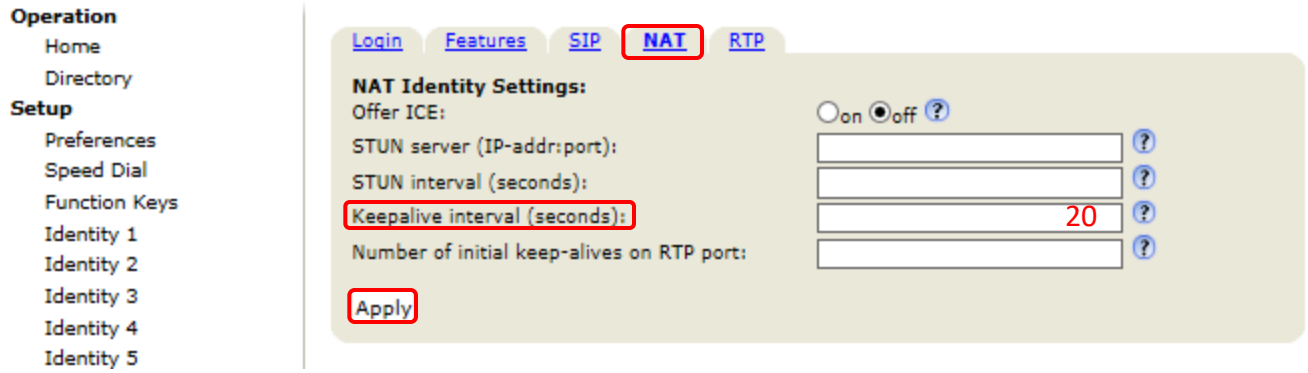
全ての設定が終わりましたら、「Apply」をクリックします。
そうしますと以下のように「Some settings are not yet stored permanently.」と出ますので、「Save」をクリックします。
※他の場所でも出る時がありますので、変更したのなら、そのつど「Save」を押してください。

<u>着信音の変え方</u>
前ページ画面中ほどの「Ringtone」から音を選択し、「Apply」をクリックして「Save」をクリックして保存します。
「Play Ringer」をクリックすると、音を確認する事が出来ます。
※ 音量の変更は待ち受け時、本体キーパッドの下、Volumeボタンにて調整します。



④ Keep Aliveの設定

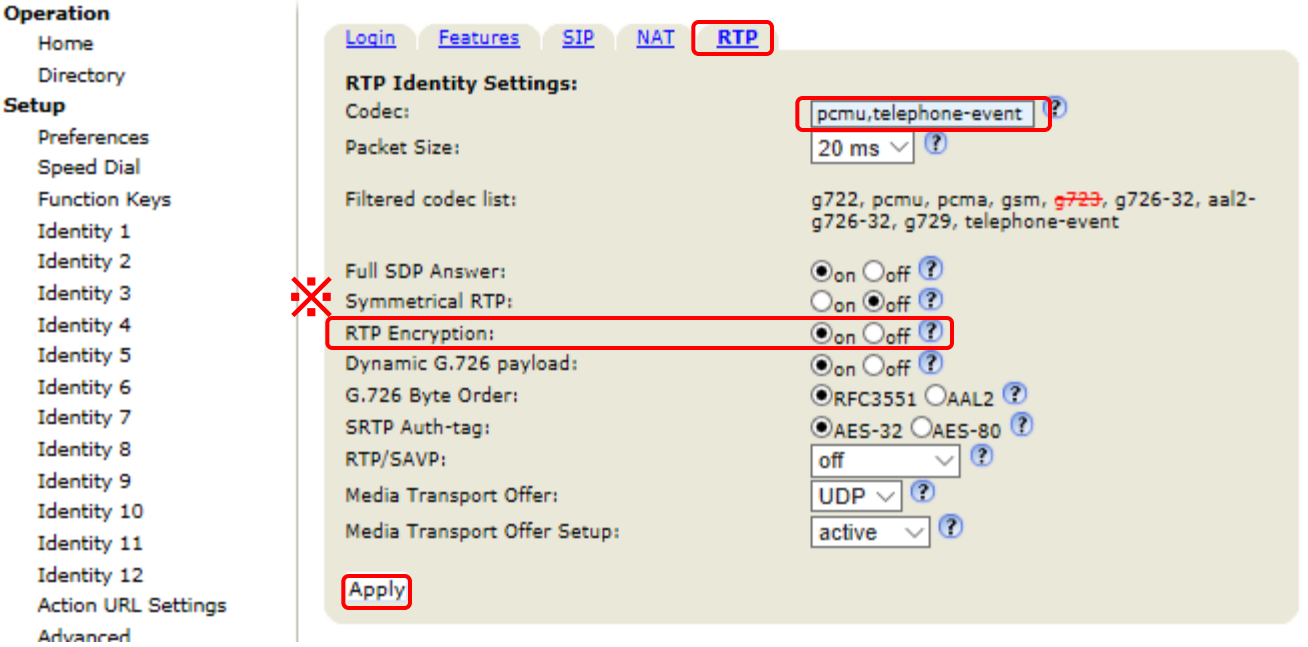
画面上部の「NAT」をクリックし、以下のように設定します。終わりましたら「Apply」→「Save」の順にクリックします。



Keepalive interval (seconds): 「20」を入力します。

⑤ Codecの設定

画面上部の「RTP」をクリックし、以下のように設定します。

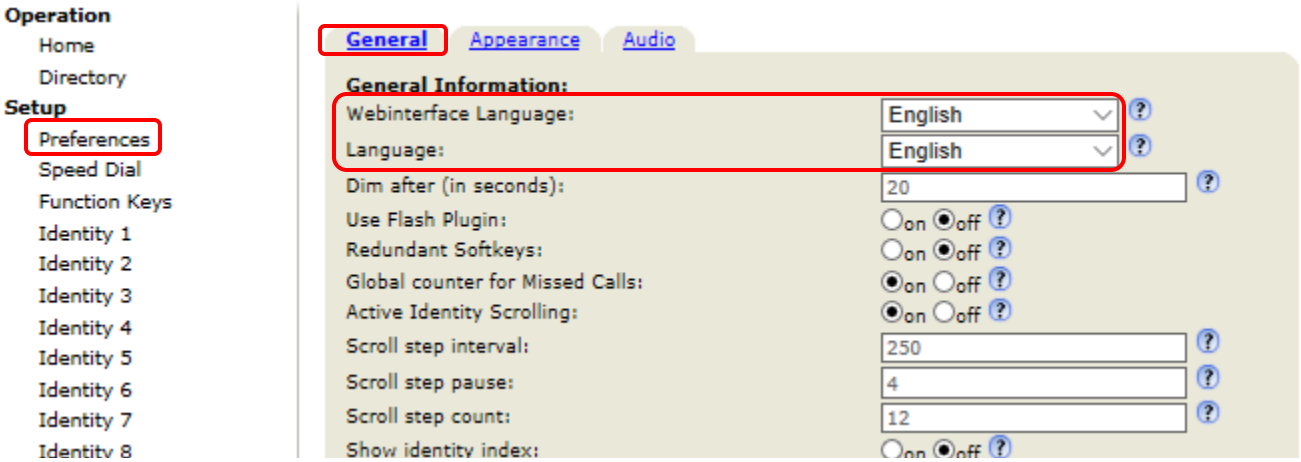


※<<弊社CTI（クラウドコールセンターシステム）の端末としてSNOMD735をご利用する場合>>
上記画面の「RTP Encryption」をOFFにしてください。

Codec : pcmu,telephone-eventと記載します。
終わりましたら、「Apply」をクリックして、画面上部に表示される「Save」をクリックして下さい。

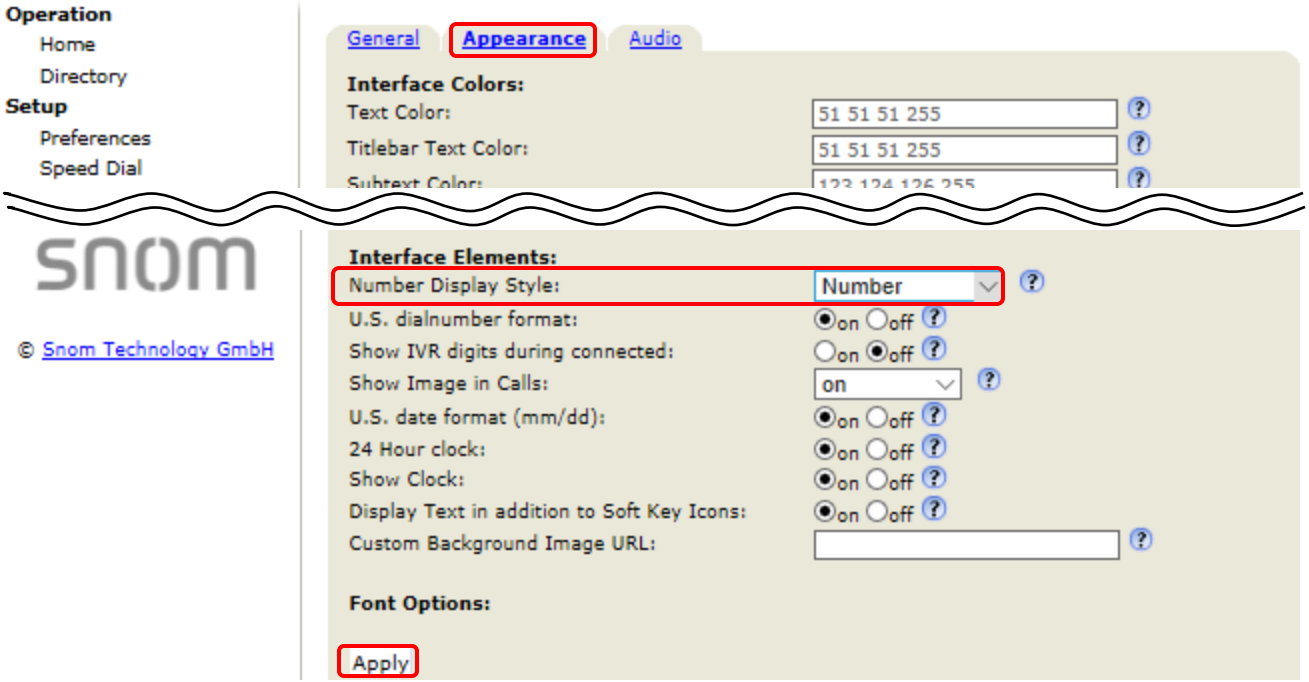
⑥左メニューより「Preferences」をクリックし、以下のように設定します。

「General」のタブを開きます。



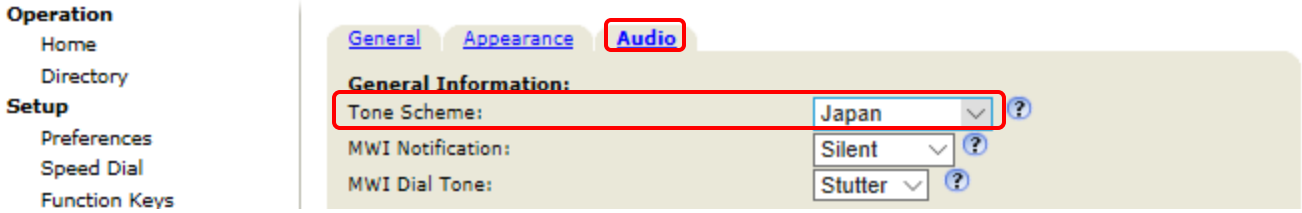
Webinterface Language:「English」を選択します。
Language: 「English」を選択します。
画面の一番下にあります、「Apply」ボタンをクリックし画面上部に表示される「SAVE」ボタンをクリックします。

次に「Appearance」のタブを開きます。



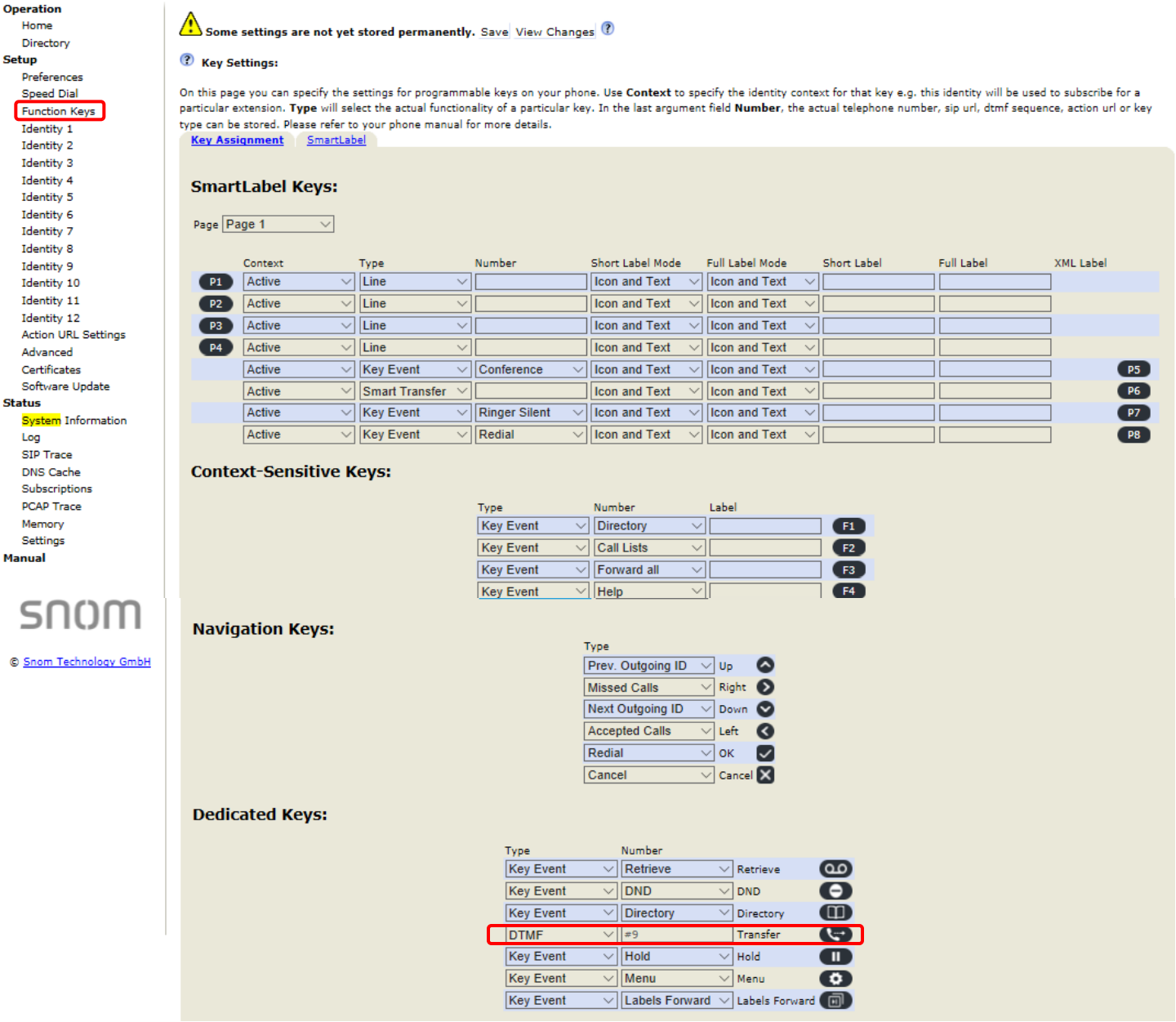
Number Display Style: 「Number」を選択します。
画面の一番下にあります、「Apply」ボタンをクリックし画面上部に表示される「SAVE」ボタンをクリックします

最後に「Audio」のタブを開きます。



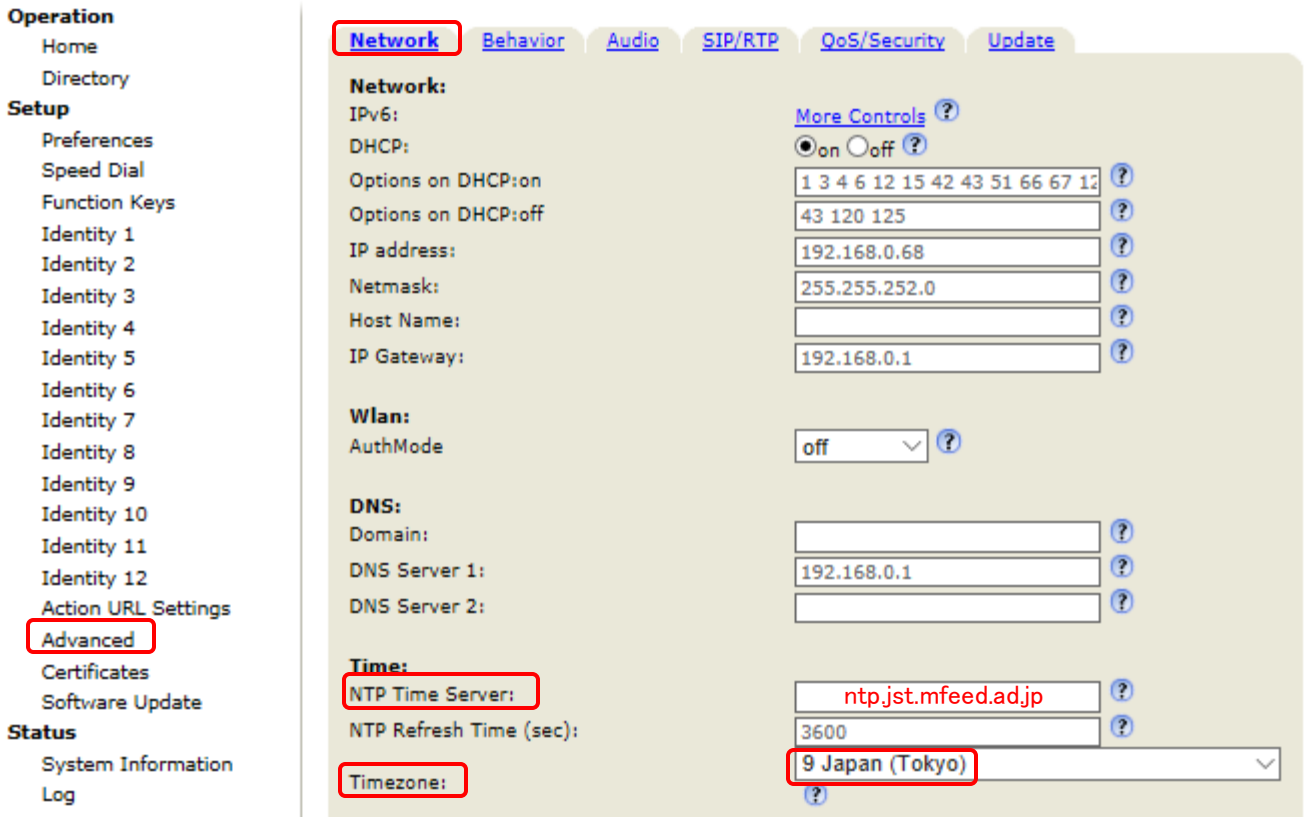
Tone Scheme: 「Japan」を選択します。
画面の一番下にあります、「Apply」ボタンをクリックし画面上部に表示される「SAVE」ボタンをクリックします

⑦左メニューから「Function Keys」をクリックし、以下の様に入力します。
設定が終わりましたら、「Apply」ボタンをクリックし画面上部に表示される「SAVE」ボタンで保存します



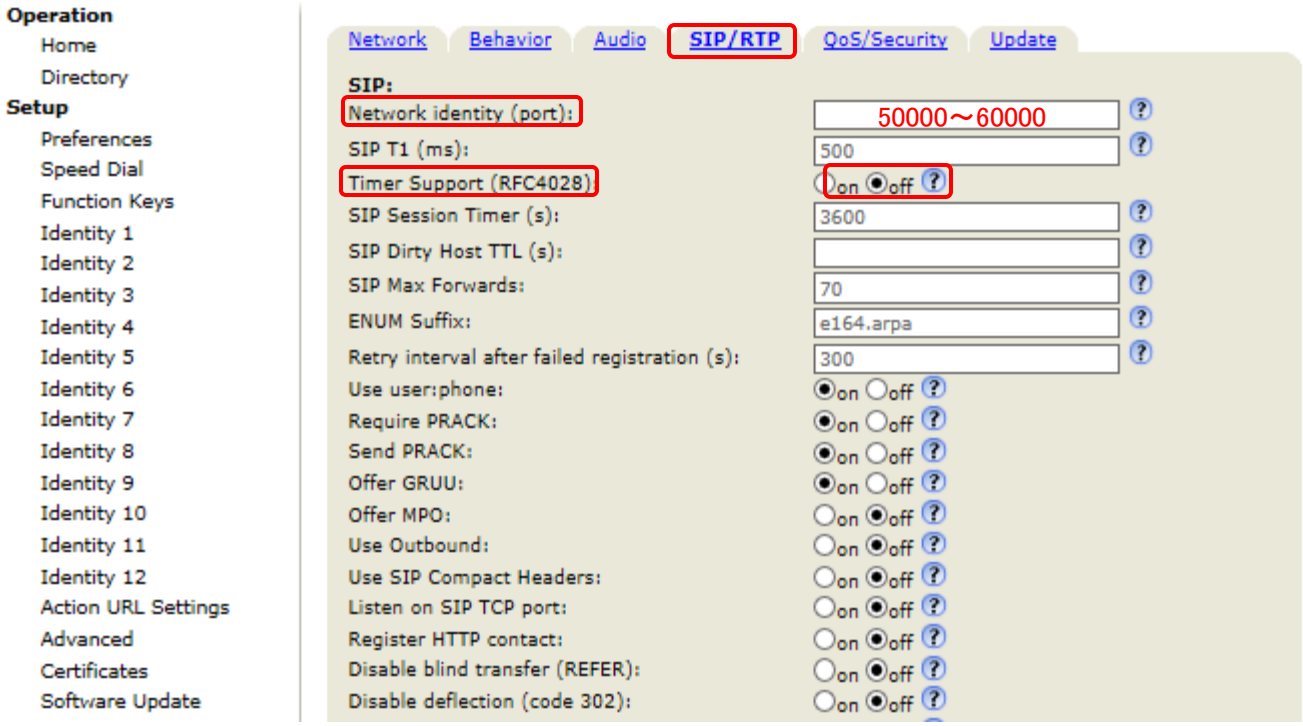
TRANSFAR Type：「DTMF」を選択します。
TRANSFARNumber：「#9」を選択します。

⑧ 左メニューより「Advanced」をクリックし、以下のように設定します。
終わりましたら画面の一番下にあります、「Apply」ボタンをクリックします。



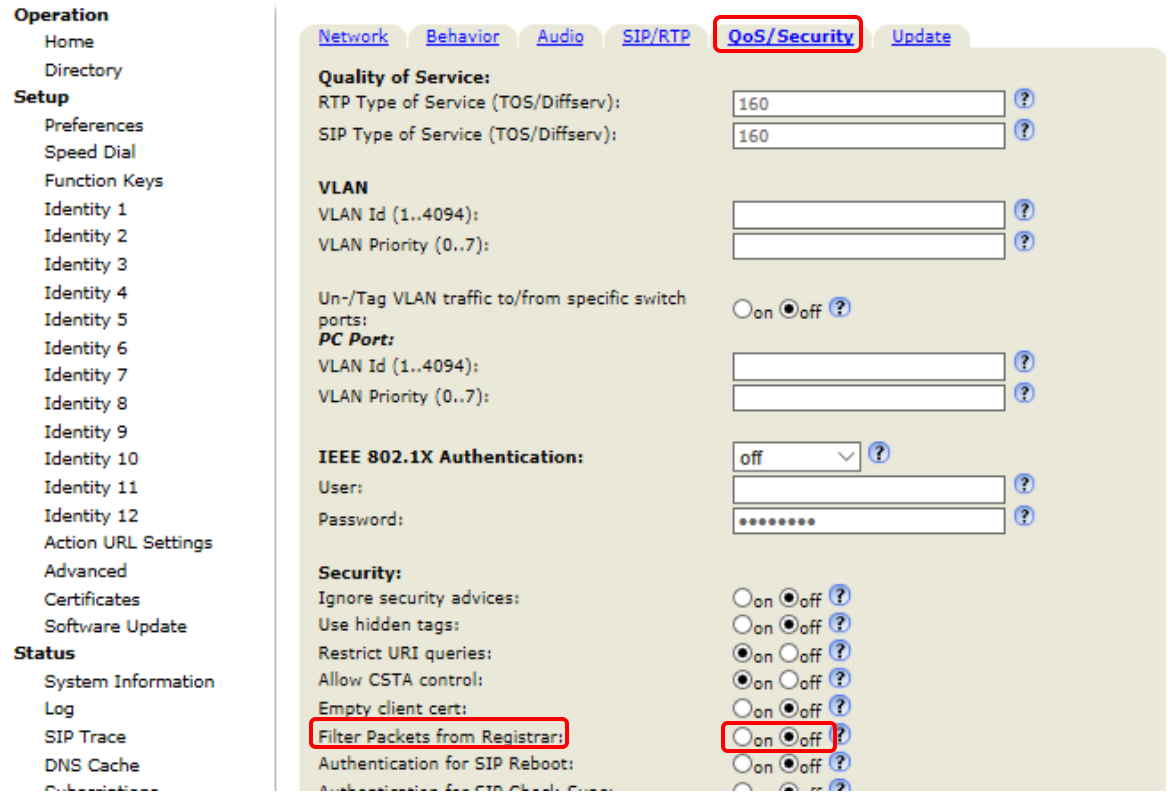
NTP Time Server：「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。
Timezone：「+9 Japan (Tokyo)」を選択します。

⑨ 画面上部の「SIP/RTP」をクリックし、以下のように設定します。
終わりましたら画面の一番下にあります、「Apply」ボタンをクリックします。

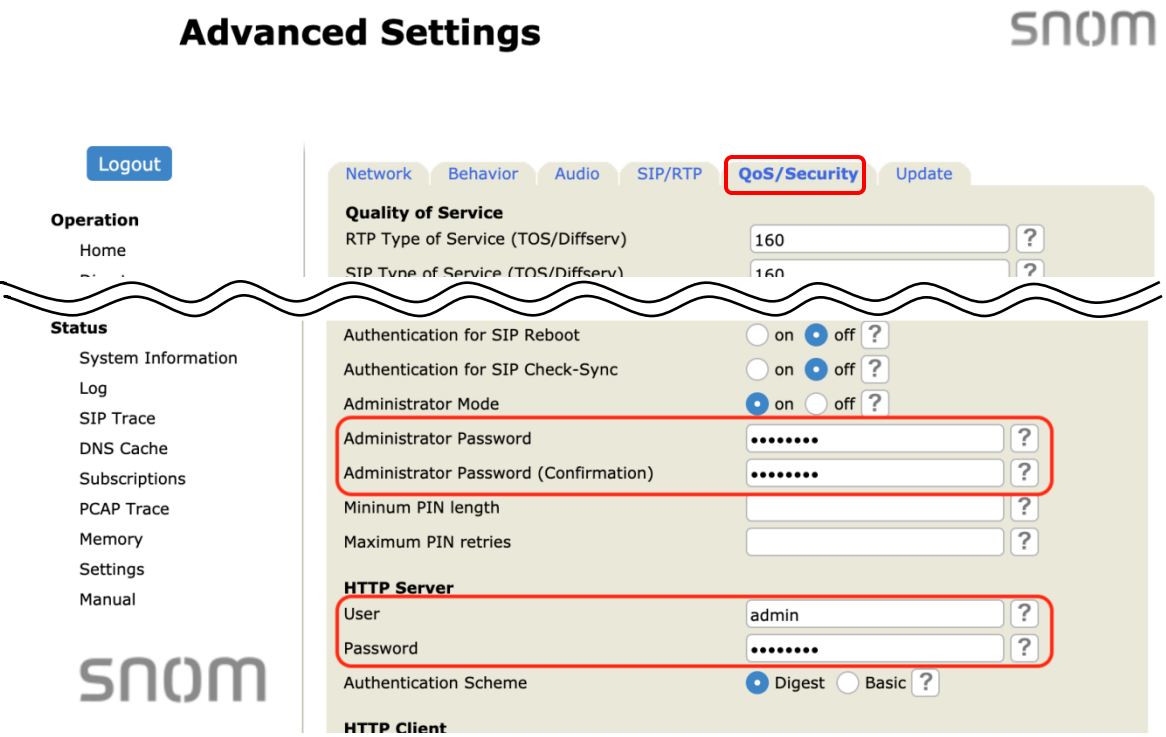


Network Identity(port): 50000～60000のいずれかの数字を入力します。
※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当てて下さい。
例：端末Aには50000、端末Bには50001
Timer Support(RFC4028): “off ” に変更します。

⑩ 画面上部の「QoS/Security」をクリックし、以下のように設定します。
終わりましたら、「Apply」をクリックして、画面上部の「Save」をクリックして下さい。



Filter Packets from Registrar：「off」を選択します。



Administrator PasswordとHTTP ServerのUserおよびPassword設定します。
設定が終わりましたら、「Apply」→「Save」の順にクリックして設定を保存。

⑪ 画面上部の「Update」をクリックし、以下のように設定します。
終わりましたら画面の一番下にあります、「Apply」ボタンをクリックします。

UpdatePolicy：「”Never update , do not load settings”」を選択します。
PnP Config：「on」を選択します。

※全ての設定が終わりましたら、「Apply」→「Save」の順にクリックして設定を保存し、
Rebootにて機器を再起動させ設定を反映させます。

・その他の機能やご不明点については「SnomD735 wiki」もご参照ください。（英語ページ）
http://wiki.snom.com/D735

端末のレジスト(登録)を確認します

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。
画面上部の「**各種設定**」から「**ユニーク一覧**」をクリックします。

上のような画面が表示されるので、対象ユニークの「**状態**」のマークを確認します。

・・・レジスト(登録)ができている状態です。

・・・レジスト(登録)が失敗しています。クリックすると失敗のステータスを確認する事ができます。

レジストができている状態になっていたら、設定完了になります。

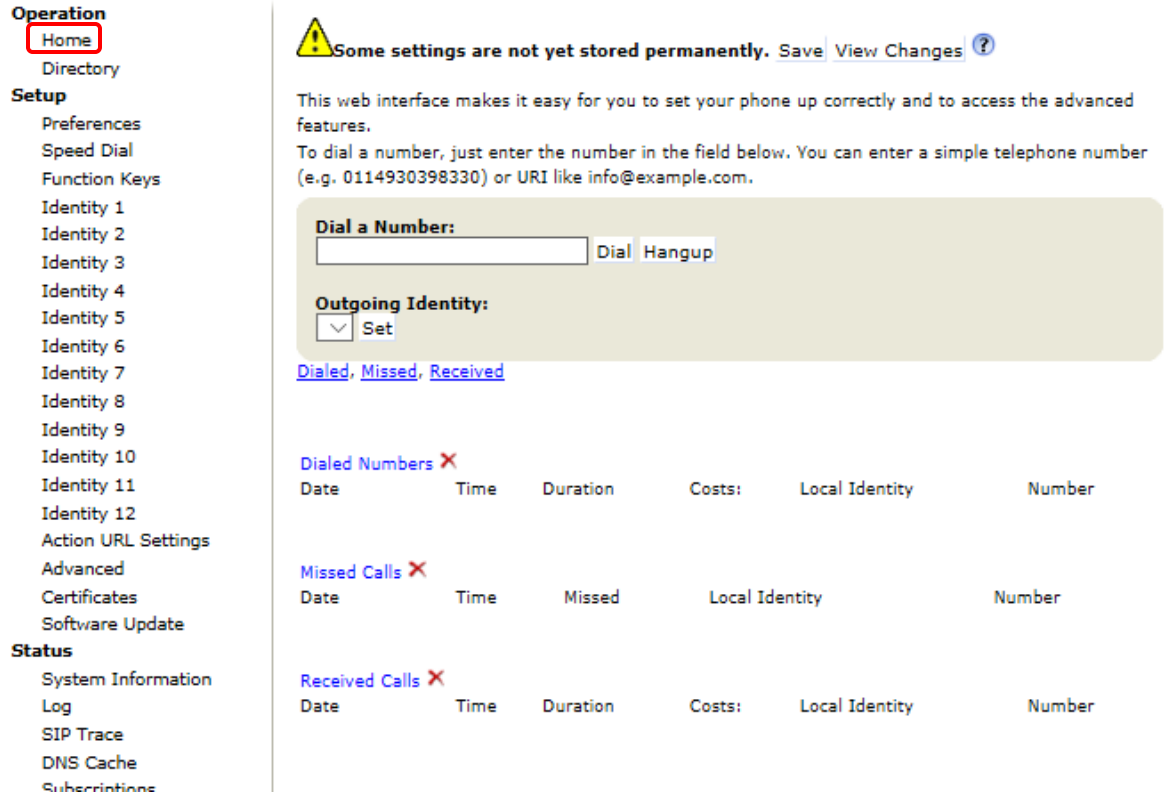
※レジストが失敗している場合、端末に入力したユニーク、端末パスワード等に間違えがないかご確認ください。

発着信履歴の見方

① 設定画面から確認
最初に表示される画面、もしくは左メニューの「Home」を押した場合に、下記画面より確認する事が出来ます。

Dialed Numbers ： その電話機から発信した履歴
Missed Calls ： その電話機に着信したが、取らなかった履歴
Received Calls ： その電話機で着信を取った履歴

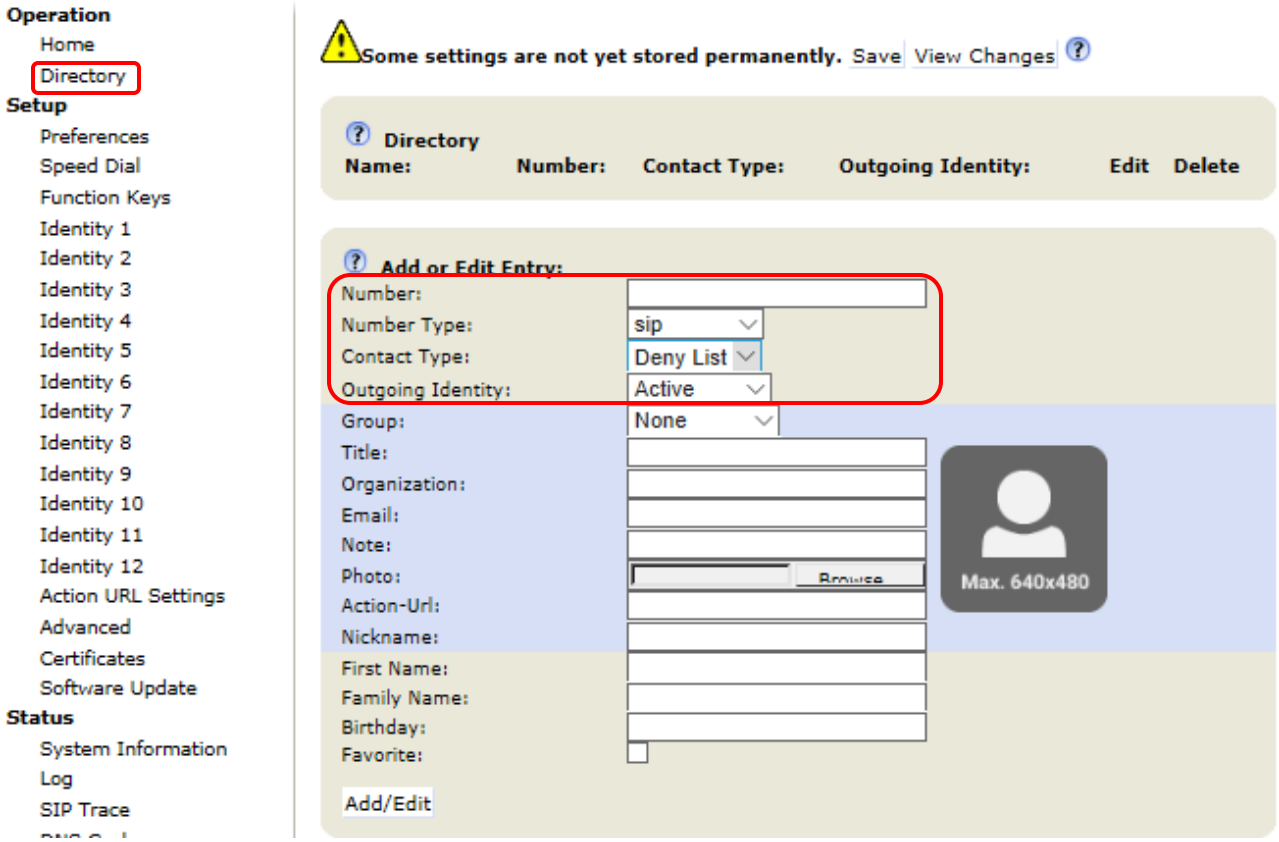
② 画面上の電話番号をクリックすると、その電話機からその番号へワンタッチで発信する事が出来ます。



③ 電話機本体から確認
着信履歴 「Navigation Key」の左を押すと表示されます。
不在履歴 「Navigation Key」の右を押すと表示されます。
発信履歴 「Navigation Key 」の上または下を押すと表示されます。

または、ディスプレイに表示されている「Call History」のメニューからも確認ができます。

指定番号拒否設定



電話機の設定画面を開き、左メニューから「Directory」をクリックします。
画面中央の、「AddorEditEntry」にて、拒否したい電話番号を入力し、「Add/Edit」をクリックします。

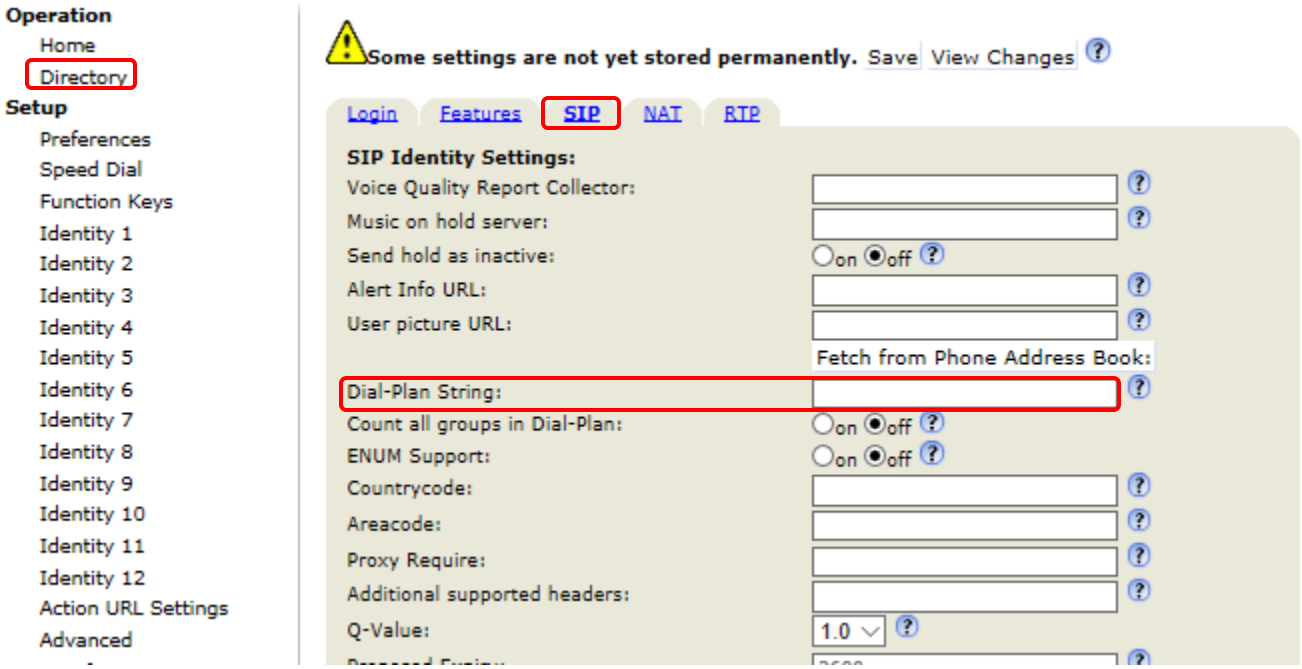
Number： 拒否したい番号
NumberType： sip
ContactType： DenyList
OutgoingIdentity： Active

「Add/Edit」を押すと、画面上の表に、追加した電話番号が表示されます。解除したい場合は、その電話番号の右横のDeleteをクリックします。

※ 非通知着信拒否に関しては、拒否したい番号を「anonymous」として登録します。電話機ごとに設定が必要です。公衆電話からの着信に関しても、「anonymous」とすることにより拒否設定とする事が出来ます。

例）Number：anonymous

・発信時に特定番号を付加する方法
例）発信時に自動的に先頭に「184」を付加する設定
ユニークを設定しているIdentityページを開きます。
上のタブSIPを選択し、Dial-Plan String:に |^(0[0-9]*)$|sip:184¥1@¥d;phone=yes| を入力してください。



※ 設定をすると常に184発信となるため内線発信ができなくなります
※ 当サービスの内線転送はご利用いただけます

端末設定のバックアップ

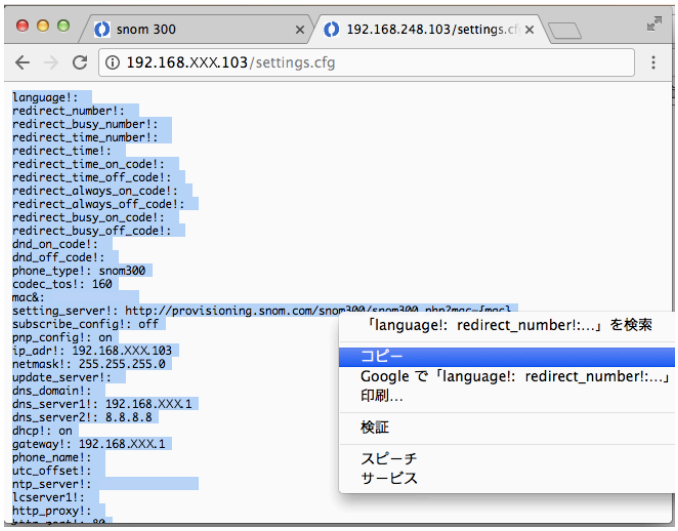
端末を初期化する際などに設定のバックアップをしたい場合は以下の手順を行ってください。

左メニューにある「**Settings**」をクリックします。

「Click here to save the settings.」の here のリンクをクリックします。

ブラウザの新しいタブで「http:// IPアドレス /settings.cfg」が開き、設定ファイルが表示されます。

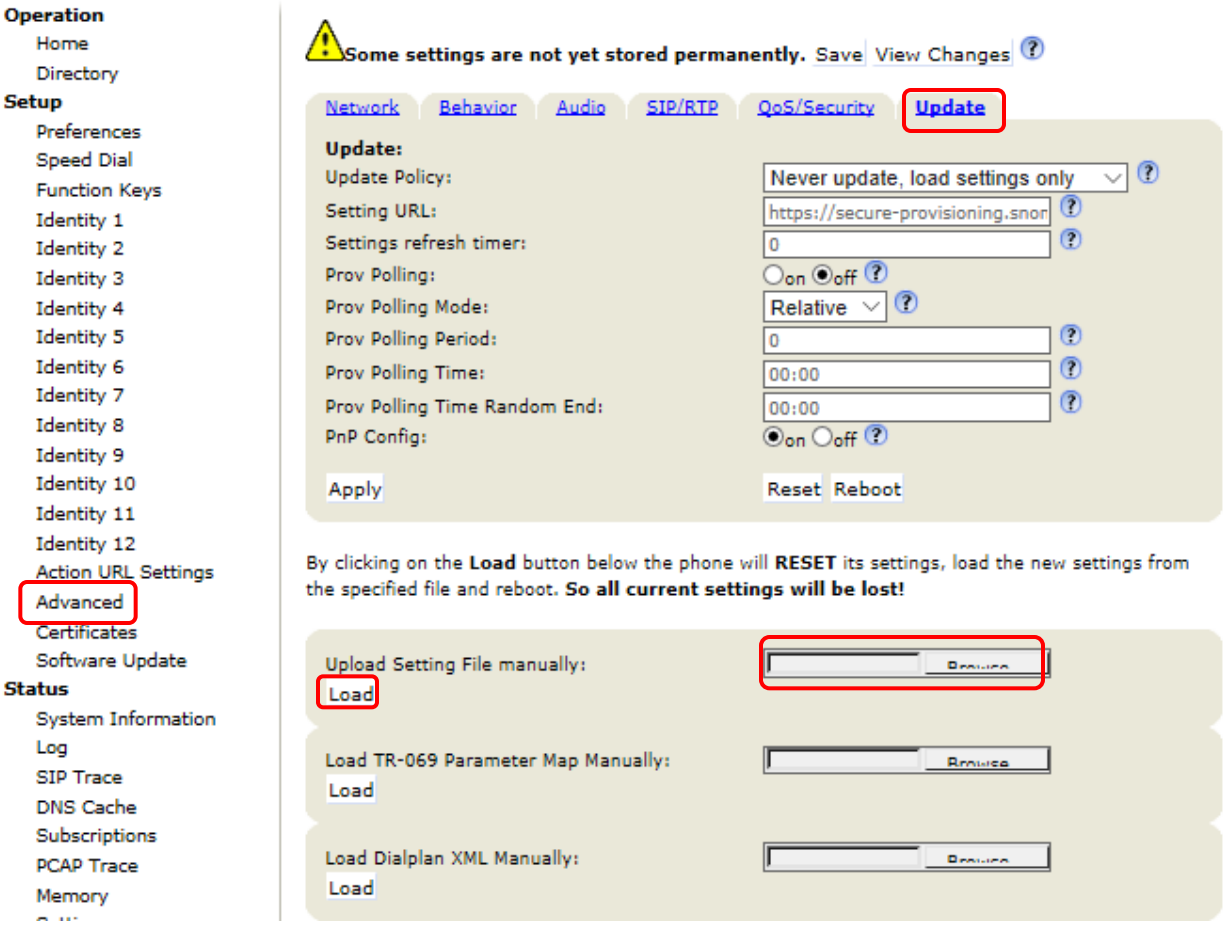
下のように設定ファイルをコピーし、メモ帳などに貼付けて保存します。



※設定ファイルにはSIPアカウント等のパスワードは含まれていません。
バックアップ復元後、再度パスワードの入力が必要になります。

バックアップファイルから設定を復元させる場合は以下の手順を行なってください。

左メニューにある「**Advanced**」をクリックし、画面上部の「**Update**」タブをクリックします。



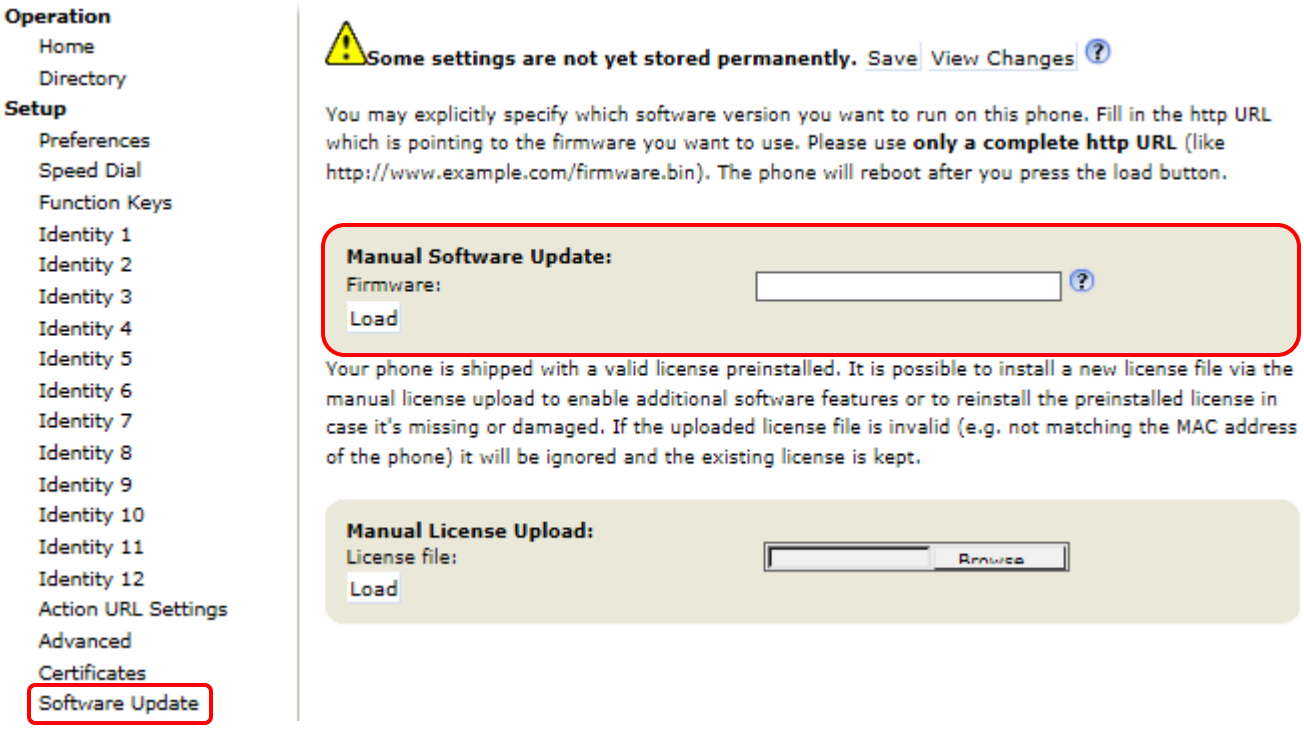
Update Setting File manually: 「ファイルを選択」をクリックして[端末設定のバックアップ]の手順で保存したファイルを選択します。

「**Load**」ボタンをクリックします。

※「Load」ボタンを押すと端末リセットを行なった後にバックアップファイルの設定が読み込まれますので、
現在の設定が全て消去されます。

再起動が終わると、端末にバックアップファイルの設定が反映され、バックアップの復元が完了します。

※設定ファイルにはSIPアカウント等のパスワードは含まれていません。
バックアップ復元後、5ページの ③ の手順をご覧になり、再度パスワードの入力を行なって下さい。



① 電話機の設定画面を開き、左メニューより Software Update クリックします。

② 上図画面が開いたら Firmware: 欄に下記URLを入力してLoadをクリックするとアップデートが開始されます。
「http://downloads.snom.com/fw/10.1.33.33/bin/snomD735-10.1.33.33-SIP-r.bin」
※ファームウェアのアップデートは数分かかります。アップデート中は電源の抜き差しや、端末の操作をしないで下さい。

③ アップデートが完了し、端末の再起動が終わりましたら、ファームウェアを確認します。
Settingsボタンを押してInformationでENTER key
Informationメニューのsystem Info でENTER key
ファームウェアのバージョンが10.1.33.33になっていればアップデート完了です。

発信コールした際にディスプレイに「disconnected Net work」表示が出た場合の対処法

お使いのSnomD735と同じネットワーク内にあるPCから、ブラウザに下記URLを入力してエンターをクリックして下さい。
※端末IPアドレスの箇所をSnomD735のIPアドレスに置き換えて入力して下さい。

http://端末のIPアドレス/dummy.htm?settings=save&ip_frag_enable=on

端末ディスプレイ、ウェブ画面共に反応無しなので、数秒後に端末を手動で再起動して、起動後確認して完了です。
バージョンによって設定変更時の挙動が異なります。

安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告	
	煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	分解・改造しない 火災・感電・故障の原因となります。
	開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない 万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れない 水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
	故障や異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。
	雷が発生したときは、本機に触れない 感電の原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電・故障の原因となります。
	本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
	水などで濡らさない 本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

注意	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	直射日光の当たるところに置かない 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多いところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない 故障の原因となることがあります。
	不安定な場所や振動の多いところに置かない 落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
	受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う 受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。（数回行ってください） 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、 ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	LANネットケーブルがはずれていませんか。	LANネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、LANネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●初期化方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。
初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体の設定ボタン を押し、メニューを表示させます。
2. ↑を数回押し「Maintenance」で「Enter key」を押します。
3. ↓を数回押し「Reset Values」で「Enter key」を押します。
4. パスワードを要求されますので、「0000」と入力して、「Enter key」（発信ボタン）を押します。
5. 電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。

●その他の設定
デフォルトの設定ではキャッチは有効になっています。キャッチを無効にする場合は、
各Identity>SIPをクリックし、Call Wating Indicationをoffにします。